



冬のよさを感じて、季節に感謝

毎日、寒い日が続きます。

正門前で、「ポケットから手を出して。」なんて言いながらも、私自身、ついついズボンのポケットに手を入れてしまうのですが、寒いのはそんなに嫌いではないのです。冬の朝の「ツーン」とした空気が鼻の奥の粘膜に凍える感じを与えてくれるのが、また、早朝の頬に触れる冷たい空気の感触が好きです。最近、耳まで真っ赤にしながら登校する子供たちもずいぶん見なくなりました。耳当てやマフラー、携帯用使い捨てカイロ、リップクリームなどなど、寒さから身を守る商品の普及により、昔のようにあかぎれができていたり唇が切れていたりする児童や、こすり合わせた手に白い息を吐きかけたりする光景を、見ることは少なくなりました。「時代だなあ。」と言えばそれまでですが、いろいろなことが私の子供のころとは違ってきていると感じています。

しかし、学校における冬ならではのことは昔から変わらぬようです。大宮小の校庭も所々に霜柱が立っています。踏んでみると、ザクザクとした感触がなんとも心地よかったです。昔は、登校する道々でこんな体験ができたものですが、現在では学校周辺の道路は舗装され、昔のように霜柱の立った土の上を、ザクザクと踏みながら登校することはなくなってしまいました。

理科的に話をすると、霜柱は地中の水分が土の間を通り、地表に移動して、そこで柱状に凍結したものです。これを繰り返して霜柱が成長していきます。

ザクザクと踏んでしまうのも心地よかったです。土を分けてみてみると、成長した霜柱は一本一本透明でとてもきれいに感じます。かたい校庭の土を持ち上げる霜柱一本一本に力強さを感じるとともに、実はその透明できれいな姿に感動したりします。

世の中の環境が変わっていても、子供達にはこのような四季のすばらしさを感じ取ってほしい、いや、感じ取れる人になってほしいと思います。自然のやさしさや厳しさを感じ取れる子は、人の痛みややさしさを感じ取れる人になるに違いない、そう思うからです。霜のおりた校庭を踏む「大宮っ子」を見ていて、そう感じました。

「暑い」「寒い」と、うるさく言うな。夏は冬に感謝し、冬は夏に感謝しんしゃい。

「がばいばあちゃんの名言」より

○ 学習参観・懇談会 お待ちしております

2月2日(金)は今年度最後の学習参観、懇談会になります。お忙しい時期かと存じますが、是非学校に足を向けていただければ幸いです。お子様の学習の様子をご覧ください。1月の席書会で書いた書き初めも掲示いたします。12月よりも力強く筆を進める様子が見られました。子供たちの力作をご覧ください。また懇談会で、この一年の成長を振り返るとともに、来年度に向けて準備などお知らせしたいと存じます。コロナ禍でなかなか話し合いの機会も持てませんでした。この機会にぜひご参加ください。

○ 千葉市球技大会が開かれました

大宮小学校を会場として、坂月小、白井小、更科小が参加し、千城小学校との合同チームでバスケットとサッカーの試合を行いました。前日子供たちにも協力してもらって準備万端!とっていたら夜はかなり雨の音がしていました。しかし、当日は朝から気温も高く、お昼ごろからは日差しも出てきてコンディションにも恵まれました。4年ぶりの本格開催で、応援の保護者の方や1~5年生の声援や拍手の中、熱戦が繰り広げられました。これまでの練習を経て、チームの団結力の高まりが感じられました。

○ 大宮公民館「地区小学校児童作品展」について

児童の日頃の学習の成果について、大宮小学校の児童作品も千葉市総合展覧会にて展示されました。図画工作、家庭科、特別支援、書写の各作品を2月3日(土)~2月21日(水)まで大宮公民館にて「地区小学校児童作品展」でも展示されます。作品は1月30日(火)~2月2日(金)までは1階コンピューター室に展示しております。学習参観や公民館にお出かけの際にはぜひお立ち寄りいただければ幸いです。

○ 新入生説明会~2月9日(金)に行います

来年度の1年生への説明会を2月9日(金)に予定しております。9:45から受付、10:00から行います。楽しい学校生活のスタートを切れるようにお知らせ等してまいりたいと存じます。

○ もしもの備えを

新年明けて早々の能登半島地震には驚いた方も多かったことでしょう。ご親戚やお知り合いがいらっしゃる方はご心配のことと存じます。心よりお見舞いを申し上げます。ニュースを聞いて災害はお正月も関係なくやってくるものだと思改めて感じました。ビルが大きく傾いたり、30センチ以上も地盤沈下が起こったりしていましたね。また、1月17日は阪神淡路大震災から29年。「ともに」という言葉が広場に灯されていました。そういった災害を目の当たりにすると「いつも通り」の日常がとてもありがたいことと感じました。支えあう家族はかけがえのないものです。いざというときにどのように連絡をとるのか。水や食糧など何を最低限そろえておくかなどこの機会にぜひご家庭でも検討されてみてはいかがでしょうか。